〔様式例１〕

社会福祉法人設立準備会　会則例

社会福祉法人○○○福祉会設立準備会　会則

　　第１章

（目的）

第１条　この設立準備会（以下、「準備会」という。）は、下記の社会福祉事業を経営する社会福祉法人○○福祉会を設立することを目的として、法人設立に係る一切の業務を行う。

　（１）第一種社会福祉事業

　　　　特別養護老人ホームの経営

　（２）第二種社会福祉事業

　　（イ）老人デイサービス事業の経営

　　（ロ）老人短期入所事業の経営

　　（ハ）老人居宅介護等事業の経営

　（備考）

　　　準備会を準備委員会としてもよいこと。

（名称）

第２条　この準備会は、社会福祉法人○○福祉会設立準備会という。

（事務所の所在地）

第３条　この準備会の事務所を○○市○○町○○番地に置く。

　　第２章　役員及び職員

（役員の定数）

第４条　この準備会には、次の役員を置く。

　（１）　委員　　　○○名以上○○名以内

　（２）　監事　　　　○名以内

２　委員のうち１名を委員長とする。

３　委員長は、この準備会を代表する。

　（備考）

　　（１）委員は６名以上、監事は２名以上とすること。

　　（２）委員及び監事の定数は確定数とすることも可能。

　　（３）委員長を会長又は代表委員等としてもよいこと。

（役員の任期）

第５条　役員の任期は、２年とする。ただし、補欠の役員の任期は、前任者の残任期間とする。

２　役員は、再任されることができる。

３　委員長の任期は、委員として在任する期間とする。

（役員の選任等）

第６条　委員は、委員総数の３分の２以上の同意を得て、委員長が委嘱する。

２　監事は、委員会において選任する。

３　監事は、この準備会の委員、職員及びこれらに類する他の職務を兼任することができない。

（準備会）

第７条　この準備会の業務の決定は、委員をもって組織する準備会によって行う。ただし、日常の業務として準備会が定めるものについては委員長が専決し、これを準備会に報告する。

２　準備会は、委員長がこれを招集する。

３　委員長は、委員総数の３分の１以上の委員又は監事から会議に付議すべき事項を示して準備会の招集を請求された場合には、その請求のあった日から１週間以内にこれを招集しなければならない。

４　準備会に議長を置き、議長はその都度選任する。

５　準備会は、委員総数の３分の２以上の出席がなければ、その議事を開き、議決することができない。

６　準備会の議事は、委員総数の過半数で決定し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

７　準備会の決議について、特別の利害関係を有する委員は、その議事に加わることができない。

８　議長及び準備会において選任した委員２名は、準備会の議事についての議事の経過の要領及びその結果を記載した議事録を作成し、これに署名又は記名押印しなければならない。

　（備考）

　　（１）「日常の業務として準備会が定めるもの」の例としては、次のような業務がある。

　　　 ①　職員の日常の労務管理・福利厚生に関すること

②　債権の免除・効力の変更のうち、当該処分が準備会に有利であると認められるもの、その他やむを得ない特別の理由があると認められるもの

ただし、準備会運営に重大な影響があるものを除く

（注）当該処分について委員長個人が特別の利害関係を有する場合は、準備会において選任する他の委員が専決すること

　　　 ③　物品購入等の契約のうち次のような軽微なもの

ア　日常的に消費する消耗品等の購入

　　　　 イ　物品の修理等

ウ　緊急を要する物品の購入等

（注１）委員長が専決できる契約の金額及び範囲については、随意契約によることができる場合の基準も参酌しながら、準備会の判断により決定することが必要であるので、準備会があらかじめ準備会の会則細則等に規定しておくこと

（注２）当該契約について委員長個人が特別の利害関係を有する場合は、準備会において選任する他の委員が専決すること

　　（２）準備会に出席できない委員が、その議決権を他の委員に委任することができる旨の規定を設けることは認められないこと。

　　（３）準備会に出席できない委員について、書面による表決を認めるときは、第５項の次に次の一項を加えること。ただし、書面参加が続く委員については、実際の準備会運営に参画できない者であるので、更迭すること。

　　　　６　前項の場合において、あらかじめ書面をもって、欠席の理由及び準備会に付議される事項についての意思を表示した者は、出席者とみなす。

（４）議長の議決権については、第６項の規定により、可否同数のときの決定権として行使されることとなり、それより以前に行使することは二重の投票権を有する結果にもなり、不都合な事態を招く。そのため、可否同数のときより前の議決はできないことに留意すること。

（委員長の職務の代理）

第８条　委員長に事故あるときは、又は欠けたときは、委員長があらかじめ指名する他の委員が、順次に委員長の職務を代理する。

２　委員長個人と利益相反する行為となる事項及び双方代理となる事項については、準備会において選任する他の委員が委員長の職務を代理する。

（監事による監査）

第９条　監事は、委員の業務の執行状況及び準備会の会計の状況を監査しなければならない。

２　監事は、毎年定期的に監査報告書を作成し、準備会に報告するものとする。

３　監事は、前項に定めるほか、必要があると認めるときは、準備会に出席して意見を述べるものとする。

（職員）

第１０条　この準備会に、職員若干名を置く。

２　職員は、準備会の議決を経て、委員長が任免する。

　　第３章

（予算）

第１１条　この準備会の予算は、毎会計年度開始前に、委員長において編成し、委員総数の３分の２以上の同意を得なければならない。

（決算）

第１２条　この準備会の事業報告、貸借対照表及び収支計算書は、毎会計年度終了後２月以内に委員長において作成し、監事の監査を経てから、準備会の認定を得なければならない。

２　前項の認定を受けた書類及びこれに関する監事の意見を記載した書面については、準備会の事務所に備え置くとともに、一般の閲覧に供するものとする。

３　会計の決算上繰越金を生じたときは、次会計年度に繰り越すものとする。

（会計年度）

第１３条　この準備会の会計年度は、毎年４月１日に始まり、翌年３月３１日に終わる。（会計処理の基準）

第１４条　この準備会の会計に関しては、この会則に定めのあるもののほか、準備会で定める経理規程において処理する。

　（備考）

　　　経理規程については、「社会福祉法人会計基準」に基づき定めること。

（臨機の措置）

第１５条　予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は、権利の放棄をしようとするときは、委員総数の３分の２以上の同意がなければならない。

　　第４章

（解散）

第１６条　この準備会は、次の解散事由により解散する。

　（１）法人が設立され、清算業務を終了したとき

　（２）法人の設立を断念し、清算業務を終了したとき

（残余財産の処理）

第１７条　解散した場合の残余財産の処理は、委員総数の３分の２以上の同意を得てその方法を決定するものとする。

　　（備考）

　　　　法人が設立されたときは、負債は、設立後の法人に引き継ぐことはできないものであること。

　　第５章

（会則の変更）

第１８条　この会則を変更するときは、委員総数の３分の２以上の同意を得なければならない。

　　第６章

（公告の方法）

第１９条　この準備会の公告は、社会福祉法人○○福祉会設立準備会事務所の掲示場に掲示して行う。

（施行細則）

第２０条　この会則の施行についての細則は、準備会において定める。

　　付　則

　この設立準備会の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この準備会の成立後遅滞なく、この会則に基づき、役員の選任を行うものとする。

　委員長

　　〃

　　〃

　　〃

　　〃

　　〃

　　〃

　　（備考）

　　　　準備会設立当初の役員は、設立準備発起人会において選任し、設立準備会が成立したときは、遅滞なくこの会則に基づき役員を選任すること。

〔様式例２〕

　　（設立準備会役員及び法人設立後の役員等就任予定者の履歴書）

|  |
| --- |
| 現住所　　○○県○○市○○町○○○番地  　　氏　名　　○○○○  　　　　　　　（　　年　　月　　日生）  　　職　歴  　　　　　○○年○月　（株)○○社入社（医薬品製造販売業）  　　　　　○○年○月　（株)○○社退社  　　　　　○○年○月　 ○○薬局を開業現在に至る。  　　その他の社会活動歴  　　　 　　○○年○月～現在　○○市民生児童委員  　　　 　　○年○○月～現在　○○市民生児童委員協議会会長  　　　 　　○○年○月　　　　社会福祉法人△△会理事就任  　　 　　　○年○○月　　　　社会福祉法人△△会理事退任  　　　 　　○年○○月～現在　○○商店会会長  　　 　　　○年○○月～現在　○○町連合町内会長  　　賞　罰  　　　な　し  　　　　上記のとおり相違ありません。  　　　　　　　　　　　　 　　　　年　　月　　日  　　　　　　　　　　　　　 氏名　　　　　　 　　 印 |

　〔様式例３〕

　（設立準備会役員就任承諾書）

設立準備会委員（又は監事）就任承諾書

　　　社会福祉法人○○福祉会設立準備会の委員（又は監事）に就任する

　　ことを承諾します。

　　　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　 住　　所

　　　　　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　 実印

　　　社会福祉法人○○福祉会

　　　 　様

〔様式例 ４－１〕

　（設立代表者の権限を証する書類）

　１．設立代表者が設立に関する一切の権限を有する場合

　　　　　　　　　　　　　　　住所

　　　　　　　　　　　　　　　氏名

　　　上記の者に社会福祉法人○○福祉会の設立代表者として設立に関し必要な

　　権限の一切を委任します。

　　　　　　　　年　　月　　日

　　 設立者　　　　（住　　　　所）　　　 （氏　　名）　　　　　　 実印

　　　 〃

　　　 〃

　　　 〃

　　　 〃

　　　 〃

　　　 〃

　〔様式例４－２〕

　　２．設立代表者が贈与確約の当事者である場合

　　　　　　　　　　　　　　　　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

　　　上記の者に社会福祉法人○○福祉会の設立代表者として設立に関し必要な

　　権限（○○○○贈与確約に係る部分を除く。）の一切を委任します。

　　　　　　　　年　　月　　日

　 　　設立者　　　　（住　　　　所）　　　 （氏　　名）　　 　　　　実印

　　　 　〃

　　　 　〃

　　　　 〃

　　　 　〃

　　 　　〃

　　 　　〃

　※ １．（○○○○）には、贈与確約の当事者である設立代表者の氏名を記載すること。

　 　２．この委任状を作成する場合には、次頁３の委任状も必要であること。

〔様式例４－３〕

　　３．設立代表者が贈与確約の当事者である場合で、当該贈与確約に係る権限

　　　のみを設立代表者以外の者に委任する場合

　　　　　　　　　　　　　　　　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　氏名

　　上記の者に社会福祉法人○○福祉会と○○○○との贈与確約に係る権限を

　委任します。

　　　　　　　　年　　月　　日

　　 設立者　　　　（住　　　　所）　　　 （氏　　名）　　　　　　 実印

　　　 〃

　　　 〃

　　 　〃

　　 　〃

　　 　〃

　　 　〃

　　※　○○○○には、贈与確約の当事者である設立代表者の氏名を記載

　　　　すること。

　〔様式例５〕

第○○回 社会福祉法人○○福祉会設立準備会議事録

　１．日　時　　　　○○年○○月○○日（○）１３時～１６時

　２．場　所　　○○市民会館１０５会議室

　３．出席者　　委員総数　１０名、うち出席委員　８名

　　　　　　　　監事総数　　２名、うち出席監事　２名

　　出席委員氏名　○○○○　☆☆☆☆　△△△△　◇◇◇◇　□□□□　▽▽▽▽

　　　　　　　　　◎◎◎◎　▲▲▲▲　★★★★

　　欠席委員氏名　▼▼▼▼

　　出席監事氏名　○○○○　△△△△

　　事務局出席者　○○○○事務員

　 定刻にいたり、委員長が仮議長となり、会則第○条の規定に基づく議長選任につき図り、◎◎委員を本日の議長に選出した。次に、◎◎委員が議長となり、会則第○条の規定の規定により、準備会が成立していることを宣し、議事録署名人に次の委員２名を選出して議事に入った。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　委員　☆☆☆☆

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　委員　△△△△

　３．議　題

　　(1).報告事項　前回の準備会以降、委員長が専決した事項について

　　(2).特別養護老人ホーム○○○苑敷地の確保について

　　(3).特別養護老人ホーム○○○苑建設計画について

　　(4).特別養護老人ホーム○○○苑建設自己資金について

　　(5).特別養護老人ホーム○○○苑建設借入金償還金について

　　(6).その他

　４．審議経過

　　第１号議案　報告事項　前回の準備会以降、委員長が専決した事項について

　　　　それでは、前回の準備会以降、委員長が専決された事項について、委員長から報告願います。

　　（委員長）　　「別紙１を御覧ください。１は、…………………………………………であります。また、２は、……………………………であります。

　　（○○委員）　１について、その経過についてもう少し詳しく説明してください。

　　（委員長）　　１については、………という経過が有り、………とした次第です。

　　（○○委員）　了解しました。

　　　　他に質問はありませんか。（質問なし。）

　　　　　　　　　それでは、委員長の報告を了承されますか。了承される方は挙手願います。（出席委員全員了承）

　　　　　　　　　委員長報告は、出席委員全員の挙手により了承されました。

　　第２号議案　特別養護老人ホーム○○○苑の敷地について

　　　　次に、第２号議案について、委員長から説明願います。

　　（委員長）　　○○○苑の敷地については、本日皆様方全員で、○○市から候補地として示され○○町○○番地の○○○㎡と△△町△△番地の△△△㎡の２か所（いずれも市有地）を視察したところですが、本日の準備会で施設用地を決定し、市に回答したいと思いますので、委員の皆様方のご意見をお伺いします。

　　（○○委員）　△△町よりも○○町の土地は、面積的には狭いが、○○病院から近いということを考えれば、○○町のほうが良いと考えます。

　　（△△委員）　私も、○○委員と同意見です。

　　（◇◇委員）　私は、今後の法人の事業展開を考えると、広い△△町の方が適当と考えます。

　　（□□委員）　私も、◇◇委員と同意見です。

　　（☆☆委員）　私は、○○委員と同意見ですが、意見が分かれているので、両監事の意見を伺ってみてはどうでしょうか。

　　　　☆☆委員から、両監事の意見を伺ったらという提案がなされましたが、取扱いをいかがしましょうか。（出席委員全員より賛成の意見有り。）

　　　　　　　　　委員全員が賛成ですので、両監事の御意見をお願いします。○○監事さんはどうお考えですか。

　　（○○監事）　私は、○○委員と同じく病院に近く、また、街にも近い○○町のほうが特別養護老人ホームの用地としては、適当と思います。

　　　　△△監事さんの御意見をお伺いします。

　　（△△監事）　私も、○○監事と同意見です。

　　　　両監事さんの意見を伺いましたが、両監事とも○○町のほうが良いという考えでした。監事さんの意見を参考にしつつ、用地を決定したいと思います。どういう方法が良いでしょうか。

　　（☆☆委員）　時間も相当経過したので、ここで採決されるよう提案します。

　　　　☆☆委員から採決をとの提案がありましたが、どうでしょうか。　　　　　　　　　（出席委員全員異議なしとの意見有り。）

　　　　　　　　　出席委員全員が異議なしとのことですので、挙手により用地を決定したいと思います。

　　　　　　　　　それでは、○○町のほうが良いと思う人は、挙手を願います。（出席委員８名の委員中６名が挙手。）

　　　　　　　　　会則第○○条の規定では、委員総数の過半数をもって決定することとなっておりますが、○○町の用地に委員総数１０名中、６名の賛成か寄せられましたので、○○○苑の用地は、○○町に決定しました。

　　　　　　　　　次に、敷地に係る今後の段取りを委員長から説明願います。

　　　　　　　:

　　　　 （以下、略）

　　　　　　　:

　この議事の正確を期すため、次のとおり署名捺印する。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　　　　　　　議　長　　　委員　◎◎◎◎　印

　　　　　　　　　　　　　　　　　署名人　　　委員　☆☆☆☆　印

　　　　　　　　　　　　　　　　　署名人　　　委員　△△△△　印

　※ １．審議事項に係る委員の発言内容等詳細に記載すること。

　　 ２．議案資料を添付し、袋とじにして保存すること。

　〔様式例 ６－１〕

　（役員等就任予定書）

　社会福祉法人○○福祉会が設立認可されたときは、同会の定款に定める手続きにより評議員、理事及び監事が選任されるまでの間、〈評議員・理事・監事〉に就任する予定です。

　　　　　　年　　月　　日

　　　　　　　　　　　 　　　 住　　所

　　　　　　　　　　　　　　　氏　　名　　　　　　　　　　　 実印

　　設立準備会委員長　○○○○　様

　〔様式例 ６－２〕

誓　約　書

　私は、社会福祉法人○○○福祉会の〈評議員・理事・監事〉就任にあたり、次の各号に該当していないことを誓約します。

　１　社会福祉法第４０条第１項各号・第４４条第１項

　２　暴力団員等の反社会勢力である者

　　　　　　　　　年　　月　　日

住　所

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

社会福祉法人○○○会

　設立準備会　委員長○○○○○様

※印鑑登録印を押印してください。

―――――――――――――――――――――――――――――――――――――

（注意事項）

１　役員就任時に身分証明書に代え、この様式により誓約を行ってください。

２　誓約書のあて先は次のとおりです。

（１）法人設立時…評議員、理事及び監事とも、設立代表者あて

（２）上記以外…評議員、理事及び監事とも、当該法人の理事長あて

３　氏名、押印について

　　自署（署名）の場合は、押印は不要です。

４　参考

　★社会福祉法第４０条第１項

次に掲げる者は、役員となることができない。

１　法人

２　成年被後見人又は被保佐人

３　生活保護法、児童福祉法、老人福祉法、身体障害者福祉法又はこの法律の規定に違反して刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者

４　前号に該当する者を除くほか、禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者

５　第５６条第８項の規定による所轄庁の解散命令により解散を命ぜられた社会福祉法人の解散当時の役員

★暴力団員等の反社会勢力である者

１　暴力団　　２　暴力団員　　３　暴力団準構成員　　４　暴力団関係企業

５　総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ　　６　暴力団員でなくなってから５年を経過していない者　　７　その他前各号に準ずる者

〔様式例７〕

|  |  |
| --- | --- |
| 社会福祉法人〇〇会 | |
| 財　産　目　録（設立当初・施設建設完了後） | |
| Ⅰ　資産の部 | 円 |
| 1　基本財産 | 円 |
| （内訳） |  |
| （1）土地（注2） |  |
| 〇〇区〇〇町〇〇丁目〇〇番所在の土地1筆 | ㎡ |
| ㎡単位　　　　　　　円　　　総額 | 円 |
| （2）建物（注3） |  |
| 〇〇区〇〇町〇〇丁目〇〇番地所在の建物 |  |
|  | 円 |
| （3）基本財産基金 | 円 |
| 2　運用財産 | 円 |
| （内訳） |  |
| （1）建設自己資金 | 円 |
| （2）運転資金 | 円 |
| （3）法人事務費 | 円 |
| （4）什器備品（注4） | 円 |
| （5）その他構築物・権利 | 円 |
| Ⅱ　負債の部 | 円 |
| Ⅲ　差引正味財産 | 円 |

注1　設立当初及び施設建設完了後の２葉とすること。

注2　土地は、１筆ごとに登記事項証明書記載のとおり記入すること。

注3　建物は、登記事項証明書記載のとおりに１棟単位で記入すること 。

注４　什器備品については、施設建設完了後の財産目録に記入すること。

〔様式例８〕

　年　月　日

　　社会福祉法人○○福祉会設立準備会

　　　 様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○市（町、村）長 ○○○○　印

土地（建物）贈与

　社会福祉法人○○福祉会の設立が認可されたときは、当市（町、村）が所有する下記の土地（建物）を贈与することを確約します。

記

（土地）

　　地　　　　番　　　　　　　地　　　目　　　面　　積

　 ○○市○○町○○番地　　　　宅　地　　　　 ○○㎡

　　　　　　〃　　　　　　　　　〃　　　　　　〃

　（建物）

　　　　　　　 種　 類　　　　構　　造　　床面積

　　○○市○○町○○番地　老人ホーム　○造○葺平屋建　○○㎡

　　　　　　　〃　　　　　　 〃　　　　　〃　　　　　　〃

　　※ １．土地・建物は別葉とすること。

　　　 ２．予定書の場合は、「贈与する予定です。」と記載すること。

〔様式例９〕

　年　月　日

　　社会福祉法人○○福祉会設立準備会

　　　 様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 氏名　　　　　　　　　　　　印

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ○○市（町・村）長 ○○○○　印

所有権移転登記確約（予定）書

　社会福祉法人○○福祉会の設立が認可されたときは、私が所有する下記の土地ついて、貴法人に対し所有権の移転登記をすることを確約します。

記

　（土地）

　　地　　　　番　　　　　　　地　　　目　　　面　　積

　　○○市○○町○○番地　　　　宅　地　　　　　○○㎡

　　　　　　　〃　　　　　　　　　〃　　　　　　 〃

　（建物）

　　　　　　　 種　 類　　構　　造　　床面積　売渡額

　　○○市○○町○○番地　老人ホーム　木造平屋建　○○㎡　○○円

　　　　　　　〃　　　　　　　〃　　　　　〃　　　 〃　　　〃

　※ １．土地・建物は別葉とすること。

　　 ２．予定書の場合は、「締結する予定です。」と記載すること（市町村の場合のみ）。

　　 ３．個人の場合は、実印を押印すること。

〔様式例１０〕

　年　月　日

　　社会福祉法人○○福祉会設立準備会

　　　 様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　　　　　　　　　　　　　　代表者職・氏名

　社会福祉法人○○福祉会が設立されたときは、下記のとおり贈与することを確約します。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 |  |  |
|  |  | 円 |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 合計 | 件 |  |

※ １．「資金名」欄には、「土地購入資金」、「土地造成資金」、「施設（建物）購入資金」、「施設整備（建設）資金」、「設備整備資金」、「法人運営資金」、「施設運営資金」等贈与する資金名を記入すること。

　 ２．土地を贈与する場合は、下記のとおり記載すること。

　　　「下記の土地を贈与することを確約します。」

　　　　　　　　　　　　　　　　記

　　　　地　　　　番　　　　　地　　　目　　　 面　　積

　　○○市○○町○○番地　　　　宅　地　　　　　○○㎡

　　　　　　〃　　　　　　　　　　〃　　　　　　 〃

　 ３．実印を押印すること。

〔様式例１１〕

　年　月　日

　　社会福祉法人○○福祉会設立準備会

　　　 様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○市（町、村）長 ○○○○　印

　　　　　　　　 土地（建物）貸与使用許可

　　　　　　　　 確約（予定）書

　社会福祉法人○○福祉会が設立されたときは、下記の土地（建物）を貸与することを確約します。

記

　（土地）

　　地　　　　番　　　　　　　地　　　目　　　面　　積　 使用料

　　○○市○○町○○番地　　　　宅　地　　　　　○○㎡　 ○○円

　　　　　　　〃　　　　　　　　　 〃　　　　　　〃　　　 〃

　　貸与（使用許可）期間　　　　○○　年間

　（建物）

　　　　　　 種　 類　　構　　造　　床面積　使用料

　　○○市○○町○○番地　老人ホーム　木造平屋建　○○㎡　○○円

　　　　　　　〃　　　　　　　〃　　　　　〃　　　 〃　　　〃

　　貸与（使用許可）期間　　　　○○　年間

　※ １．土地・建物は別葉とすること。

　※ ２．「使用料」欄には、年額を記載すること

　　 ３．使用許可の場合には、「下記の土地（建物）の使用を許可することを確約します。」と記載すること。

　　 ４．予定書の場合は、「譲渡する予定です。」或いは「下記の土地（建物）の使用を許可する予定です。」と記載すること。

〔様式例１２〕

　年　月　日

　　社会福祉法人○○福祉会設立準備会

　　　 様

住所

氏名　　　　　　　　 　　印

土地（建物）賃貸借

　社会福祉法人○○福祉会の設立が認可されたときは、私が所有する下記の土地（建物）について、貴法人と賃貸借契約を締結することを確約します。

　　　　　　　　　　　 　　　記

（土地）

　地　　　　番　　　　　　　地　　　目　　　面　　積　 使用料

　 ○○市○○町○○番地　　　　宅　地　　　　　○○㎡　 ○○円

　　 　　　　〃　　　　　　　　　〃　　　　　　 〃　　　 〃

　 賃貸借期間　　　　　　　○○ 年間

（建物）

　 　　　　　 種　 類　　構　　造　　床面積　使用料

　 ○○市○○町○○番地　老人ホーム　木造平屋建　○○㎡　○○円

　　　 　　　〃　　　　　　　〃　　　　　〃　　　 〃　　　〃

　 賃貸借期間　　　　　　　○○ 年間

　※ １．土地・建物は別葉とすること。

　　 ２．「使用料」欄には、年額を記載すること

　　 ３．実印を押印すること。

〔様式例１３〕

　年　月　日

　　社会福祉法人○○福祉会設立準備会

　　　 様

　　　　　　　　　　　印

地上（賃借）権設定登記確約書

　社会福祉法人○○福祉会の設立が認可されたときは、貴法人に貸与する下記の土地（建物）について、地上（賃借）権を設定し、かつ登記することを確約します。

　　　　　　　　　　　　　　　　記

　（土地）

　　地　　　　番　　　　　　　地　　　目　　　面　　積

　　○○市○○町○○番地　　　　宅　地　　　　　○○㎡

　　　　　　　〃　　　　　　　　　〃　　　　　　　〃

　　地上（賃借）権設定期間　　　　○○ 年間

　（建物）

　　　　　　　 種　 類　　構　　造　　床面積

　　○○市○○町○○番地　老人ホーム　木造平屋建　○○㎡

　　　　　　　〃　　　　　　 〃　　　　　 〃　　　 〃

　　賃貸権設定期間　　　　　　　　○○ 年間

　※ １．土地・建物は別葉とすること。

　　 ２．土地については、地上権若しくは賃借権を設定すること。

　　 ３．建物については、賃借権を設定すること。

　　 ４．実印を押印すること。

〔様式例１４〕

　年　月　日

　　松江市福祉部長　様

住所

氏名　　　　　　　　　　　　印

地上（賃借）権設定登記確約書

　社会福祉法人○○福祉会の設立が認可されたときは、同法人に貸与する下記の土地（建物）について、地上（賃借）権を設定し、かつ登記することを確約します。

　　　　　　　　　　　　　　　　記

　（土地）

　　地　　　　番　　　　　　　地　　　目　　　面　　積

　　○○市○○町○○番地　　　　宅　地　　　　　○○㎡

　　　　　　　〃　　　　　　　　　〃　　　　　　 〃

　　地上（賃借）権設定期間　　　　○○ 年間

　（建物）

　　　　　　　 種　 類　　構　　造　　床面積

　　○○市○○町○○番地　老人ホーム　木造平屋建　○○㎡

　　　　　　〃　　　　　　 〃　　　　　 〃　　　 〃

　　賃貸権設定期間　　　　　　　　○○ 年間

　※ １．土地・建物は別葉とすること。

　　 ２．土地については、地上権若しくは賃借権を設定すること。

　　 ３．建物については、賃借権を設定すること。

　　 ４．実印を押印すること。

〔様式例１５〕

　年　月　日

　　社会福祉法人○○福祉会設立準備会

　　　 様

○○市（町、村）長 ○○○○　印

土地（建物）譲渡

　社会福祉法人○○福祉会が設立されたときは、下記の土地（建物）を有償譲渡することを確約します。

記

　（土地）

　　地　　　　番　　　　　　　地　　　目　　　面　　積　 譲渡額

　　○○市○○町○○番地　　　　宅　地　　　　　○○㎡　 ○○円

　　　　　　　〃　　　　　　　　　〃　　　　　　 〃　　　 〃

　（建物）

　　　　　　　 種　 類　　構　　造　　床面積　譲渡額

　　○○市○○町○○番地　老人ホーム　木造平屋建　○○㎡　○○円

　　　　　　　〃　　　　　　　〃　　　　　〃　　　 〃　　　〃

　※ １．土地・建物は別葉とすること。

　　 ２．予定書の場合は、「譲渡する予定です。」と記載すること。

〔様式例１６〕

　　　　　　　　 　　　年　月　日

　　社会福祉法人○○福祉会設立準備会

　　　 様

　　　　　　　　　　　　　　　　　 住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　 氏名　　　　　　　　　　　　　 印

　　　　　　　　　　　　　　　　　 ○○市（町、村）長 ○○○○　　印

土地（建物）売買契約

　社会福祉法人○○福祉会の設立が認可されたときは、私（当市・町・村）が所有する下記の土地について、貴法人と売買契約を締結することを確約します。

　　　　　　　　　　　　　　　　　記

　（土地）

　　地　　　　番　　　　　　　地　　　目　　　面　　積　 売渡額

　　○○市○○町○○番地　　　　宅　地　　　　　○○㎡　 ○○円

　　　　　　　〃　　　　　　　　　 〃　　　　　　〃　　　 〃

　（建物）

　　　　　　　 種　 類　　構　　造　　床面積　売渡額

　　○○市○○町○○番地　老人ホーム　木造平屋建　○○㎡　○○円

　　　　　　　〃　　　　　　　〃　　　　　〃　　　 〃　　　〃

　※ １．土地・建物は別葉とすること。

　　 ２．予定書の場合は、「締結する予定です。」と記載すること（市町村の場合のみ）。

　　 ３．個人の場合は、実印を押印すること。

〔様式例１７〕

　年　月　日

　　社会福祉法人○○福祉会設立準備会

　　　 様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　○○市（町、村）長 ○○○○　印

補助金交付確約（予定）書

　社会福祉法人○○福祉会が設立されたときは、下記のとおり補助することを確約します。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 |  |  |
|  |  | 円 |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 合計 | 件 |  |

※ １．「資金名」欄には、「土地購入資金」、「土地造成資金」、「施設（建物）購入資金」、「施設整備（建設）資金」、「設備整備資金」、「法人運営資金」、「施設運営資金」等補助する資金名を記入すること。

　 ２．予定書の場合は、「補助する予定です。」と記載すること。

〔様式例１８〕

　１．（：　　　　　　　　　　　）

　２．（：　　　　　　　　　　　）

　３．（借入金額：　　　　　　　　　　円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分    年次 | |  | | |  | | | | |
| 元金 | 利子 | 合計 | 県補  助金 | 市補  助金 | 贈与  金額 | その  他 | 合計 |
| １  ２  ３  ４  ５  ：  ：  ：  15  16  17  18  19  20 | 年 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| 合　　計 | |  |  |  |  |  |  |  |  |

　※　１．資金名、借入先毎に作成すること。

　　　２．資金毎の総括表を作成すること。

　　　３．借入先毎の総括表を作成すること。

　　　４．全借入金に係る総括表を作成すること。

〔様式例１９〕

独立行政法人福祉医療機構

貸付金借入計画書

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設種別 |  | | |
| 定　　　員 | 現　在　　　　名（個室　　　　室）〔ショートステイ 〕  整備後　　　　名（個室　　　　室）〔ショートステイ　 　〕 | | |
| 計画の概要 | １．新設事業（ア 建築　イ 賃借　ウ購入）  　２．増改築事業（ア 増改築　イ 改築　ウ　増築）  　３．設備備品整備事業  　４．土地取得事業（取得面積　　　　　　㎡） | | |
|  | １．建物の構造　 ア．耐火　イ．準耐火　ウ．その他  　　　地　　　上　　　　　階  　２．建物延べ面積　　　　　　　　　　　㎡ | | |
| 敷地の状況 | １．所有地　　　　　　　　　　㎡  　　 （今回取得）（　　　　　　 ㎡）  　２．借　地　　　　　　　　　　㎡ | | |
|  | 区　　　　　分 | 総　事　業　費 | 備　　　　考 |
| 施設整備(建築)資金設備備品整備資金 | 円 |  |
| 土地取得資金 |  |  |
| 合　　　 計 |  |  |
|  | 財源内訳 | 金　　　　　額 | 備　　　　考 |
| 国庫補助金 | 円 |  |
| 県補助金 |  | 。 |
| 補助金 | ＊希望する民間補助金名記載 |  |
| 法的・制度的補助金計 |  |  |
| 市町村補助金 |  |  |
| 福祉医療機構借入金 |  |  |
| 市中銀行借入金 |  |  |
| 贈与金 |  |  |
| 自己資金 |  | （保有現金・預金額） 円  （その他） |
| 合　　　　計 |  |  |
| 独立行政法人福祉医療機構借入額 | 区　　　　分 | 金　　　　　額 | 備　　　　考 |
| 福祉医療機構借入基準額 |  |  |
| 法的・制度的補助金計 |  |  |
| 福祉医療機構借入限度額 |  |  |
|  |  | | |

　※　１．該当項目に○印を付し、必要事項を記入のこと。

　　　２．創設法人については、「土地取得資金」は貸付け対象になっていないこと。

　　　３．創設法人については、「施設運営資金」の借入れは望ましくないこと。

〔様式例２０－１〕

　年　月　日

　　社会福祉法人○○福祉会設立準備会

　　　委員長 　　　○○○○ 様

○○市（町、村）長 ○○○○　印

償還金交付確約（予定）書

　社会福祉法人○○福祉会が設立されたときは、独立行政法人福祉医療機構及び○○○銀行からの借入金の償還金として、下記のとおり交付することを確約します。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
| 福祉医療機構 |  | 円 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※　１．「償還金名」欄には、「施設整備・設備整備資金借入金」「施設（建物）購入資金借入金」等贈与する償還金名を記載すること。

　　２．予定書の場合は、「交付する予定です。」と記載すること。

〔様式例２０－２〕

　（別紙）

　 １．（資金名：　　　　　　　　　　　　）

　　２．（借入先：　　　　　　　　　　　　）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 |  |  |  |  |
| 年 | 円 | 円 | 円 |  |
| 合　　計 |  |  |  |  |

※　交付する償還金について、償還金毎、借入先毎に作成すること。

〔様式例２１－１〕

　年　月　日

　　社会福祉法人○○福祉会設立準備会

　　　 様

　　　　　　　　　　　　印

代表者職・氏名

　社会福祉法人○○福祉会が設立されたときは、独立行政法人福祉医療機構等からの借入金の償還金として下記のとおりを贈与することを確約します。

記

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |
| 独立行政法人福祉医療機構 |  | 円 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

※　１．「償還金名」欄には、「施設整備・設備整備資金借入金」、

　　 　「施設（建物）購入資金借入金」等贈与する償還金名を記載すること。

　　２．実印を押印すること。

〔様式例２１－２〕

　（別紙）

　１．（資金名：　　　　　　　　　　　）

　２．（借入先：　　　　　　　　　　　）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年 |  |  |  |  |
| 年 | 円 | 円 | 円 |  |
| 合　　計 |  |  |  |  |

※　贈与する償還金について、償還金毎、借入先毎に作成すること。

〔様式例２２〕

　年　月　日

　　松江市福祉部長　様

設立準備会委員長 ○○○○　 印

基本財産編入確約書

　社会福祉法人○○福祉会の設立が認可されたときは、下記の土地、及び建物並びに預金等については、認可後（建物については完成後）速やかに基本財産に編入することを確約します。

記

（土地）

　地　　　　番　　　　　　　地　　　目　　　面　　積

　○○市○○町○○番地　　　　宅　地　　　　　○○㎡

　　　　　　〃　　　　　　　　　〃　　　　　　 〃

（建物）

　　　　　　 種　 類　　構　　造　　床面積

　○○市○○町○○番地　老人ホーム　木造平屋建　○○㎡

　　　　　　〃　　　　　　　〃　　　　　〃　　　 〃

（現金）

　　　　　　　　　　　　　　　　 円

（預金）

　　　　　　　　　　　　　　　　 円

（有価証券）

　　　　　　　　　　　　　　　　 円